

4～6月の交通死亡事故特徴

～ 過去5年間（R3～R7）の死亡事故データから見る ～

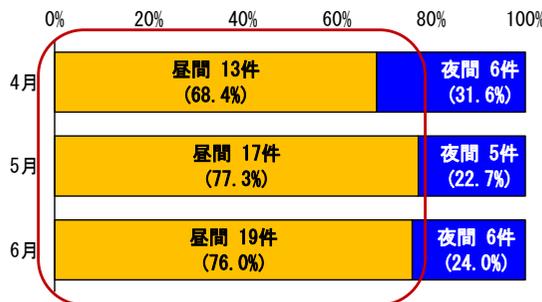
4～6月の死者数は、四半期で比較すると年間で2番目に少ないが、昼間の事故が7割以上を占め、特に、5月と6月は約8割と高い。国道での事故が4月から6月にかけて増加しており、市町村道での事故は3か月とも多い。カーブでの事故は4月から6月にかけて増加しており、6月は年間で最多である。また、当事者種別では3か月とも自動車乗車中の被害が多く、5月は歩行者の被害が多い。また、この時季は二輪車の被害も多い。

《4月》死者21人 信号交差点での事故が多い。市町村道での事故が多い。信号無視、最高速度等の悪質違反の事故が多い。
 《5月》死者23人 時間帯では12時～16時に事故が集中し、カーブでの単独事故が多い。自動車乗車中の被害が多いほか、自動二輪、歩行者の被害も多い。
 《6月》死者28人 国道における事故が多い。カーブでの正面衝突、単独事故が多く、自動車乗車中の被害が年間で最多。

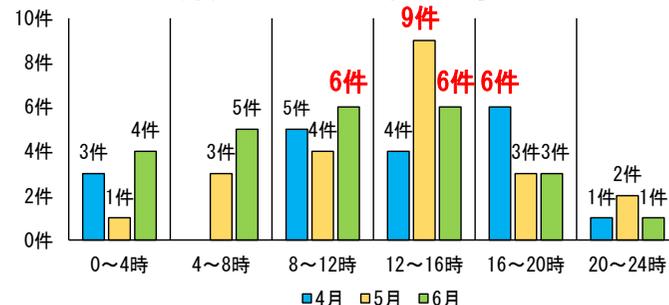
5月は中濃・東濃ブロック、6月は岐阜ブロックで交通事故死者が多い!



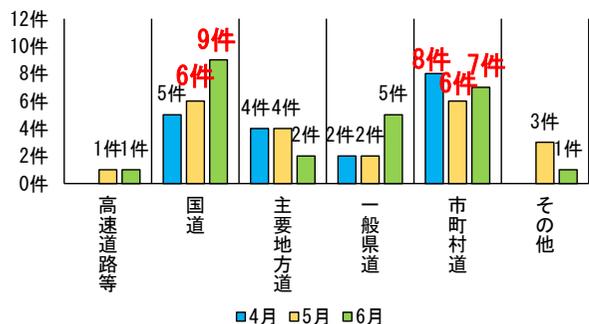
昼間の事故に注意!



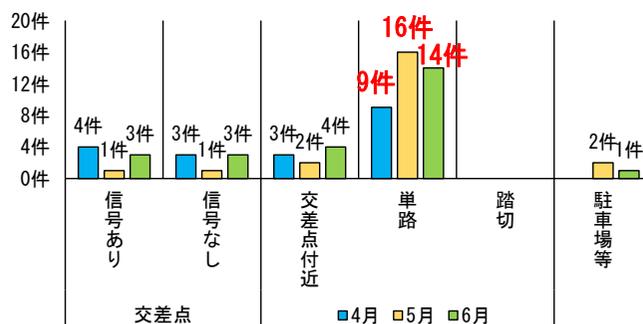
4月は16～20時、5月は12時～16時、6月は8～16時に事故が多い!



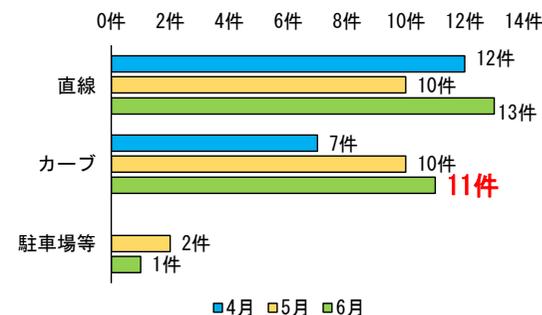
市町村道、次いで国道の事故が多い!



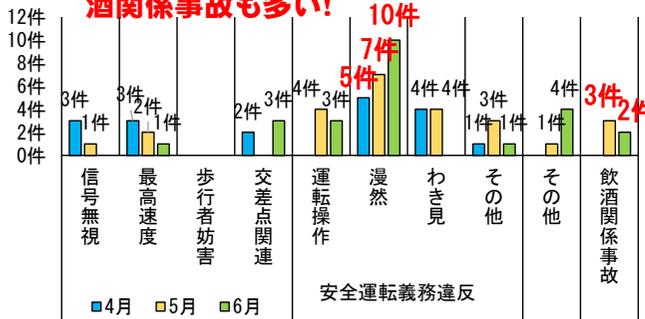
単路における事故が多い!



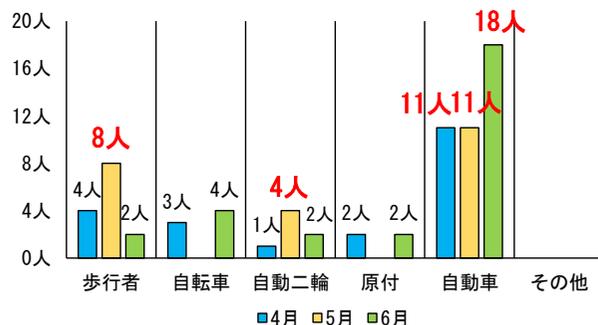
6月はカーブでの事故が最多!



漫然運転による事故が多く、5月・6月は飲酒関係事故も多い!



6月は自動車乗車中の被害が最多



車両単独事故、6月は正面衝突事故が多い!

